

ICA 年次会合レイキャビク 2015 プログラム

9月28日(月) 午前				
09:00	開会式			
09:30	基調講演「情報源、アクセス、アーカイブズ」Dr. Guðni Th. Jóhannesson			
10:00	Family Search プレゼンテーション			
10:15	休憩			
10:50	分科会 1.1 (Room A) 持続可能なデータの管理及び 再利用のためのデジタル記録 管理	分科会 1.2 (Room B) ICA プログラム委員会	分科会 1.3a (Room H) 情報と市民の権利	分科会 1.4 (Room I) 戦争、テロ、自然災害及び 気候変動の脅威
	スイス・ヴァレー州の電子ア ーカイブズの長期保存と持続 可能な再利用 Alain Dubois	アーカイブズの建物に関す る ICA 会員への調査報告 Jonathan Rhys-Lewis and the ICA Expert Group on Archival Buildings and Environments	フェロー語圏のリスク社会 における専門的な管理の強 化 Sámal Tróndur F. Johansen	危機管理と災害対策：台風 の目から：米国ニューオー リンズにおける災害復旧の10 年 Emilie Gagnet Leumas
	アーカイブズの経済的貢献に 対する評価：EU 加盟国の国内 法で公共部門情報の再利用に ついて規定する Malcolm Todd	セキュリティとアクセスの 均衡：境界を越えた対話の必 要性 Tim Harris	アーカイブズ、記録と 2015 年以降の世界発展 Victoria Lemieux	危機管理と災害対策： COSTEP MA (マサチューセッ ツ全州緊急準備連携)：米国 マサチューセッツ州の文化 資源保護のための協働 Gregor Trinkaus-Randall
	アーカイブズ提出用の共通情 報パッケージを用いた相互運 用性及びツール再利用の向上 Tarvo Kärberg	ユネスコ PERSIST プロジェク ト Fred van Kan	重大な人権侵害に取り組む 上で企業アーカイブズが果 たす役割 Lisa Ott	災害対策とその反応：共同 アプローチ Annie Peterson
	E-ARK とは何か：DIP (配付用 情報パッケージ) のフォーマ ット Alex Thirifays		分科会 1.3b (Room H) 人権関係文書管理システム 構築への取り組み	危機管理と災害対策：パネ ルディスカッション Emilie Gagnet Leumas and ICA Expert Group on Emergency Management and Disaster Preparedness
			ホロコーストの証言ビデオ の記録とアクセス提供に関 する倫理的問題 Joanne W. Rudof	
		活動家としてのアーキビス ト：人権分野のビデオアー カイビングに関する受け入 れ後の取り組み Yvonne Ng		
12:50	昼食			

ICA 年次会合レイキャビク 2015 プログラム

9月28日(月) 午後

14:00	分科会 2.1 (Room A) 市民と政府の権利と義務	分科会 2.2 (Room B) ICA プログラム委員会	分科会 2.3 (Room H) 情報セキュリティ/リスク管理	分科会 2.4 (Room I) デジタル記録管理とオープンデータ、ビッグデータ及びメタデータ管理(相互利用、特にリンクドオープンデータのためのもの)の関係
	市民権と知る権利: 政府の責務を果たす上でのアーキビストの役割 Pierre Flückiger	FIDA (国際アーカイブズ開発基金) プロジェクト Sarah Tyacke and FIDA Board	情報ガバナンスによる情報リスク管理におけるアーキビスト及び記録管理者の配置 Natasha Zwarich	オーストラリア・ニュージーランドで生まれて: オーストラリア製データツールの国際的な可搬性 Katharine Stuart
	データキャズムへの取り組み Cassie Findlay	新人専門家	包括的モデルを用いたデジタル保存のリスク評価 Jan Dalsten Sørensen	ジオデータと相互運用性ニーズ: アーカイブズの境界を越えて Chiara Marciani
	学術アーカイブズと公衆関与: 資料と関係コミュニティを繋ぐ Joshua Youngblood	ICA のアフリカ戦略 Justus Wamukoya	デジタル保存におけるリスク評価の新手法 Ole Liabo	アーカイブズに関するリンクトオープンデータ: 実践的かつ技術的なアプローチ スイスの協働プロジェクト Stefan Kwasnitza
	真実委員会とアフリカ国家アーカイブズ Adama Aly Pam		カナダにおけるオープンガバメントを背景としたデジタルアーカイブの管理 Bruno Lemay	オープンデータ共有における情報の価値の信頼性とその確保 Jo Hanisch
	真実を究明する活動記録の役割 (事例としてのチュニジアにおける真実と尊厳: 大統領アーカイブズの問題) Adel Maizi		業務委託によるデジタルアーカイブのリスク管理 Lihua Huang	オープンデータ及びリンクトデータに係る実際経験 Mikko Lampi
	分科会 2.5 (Room K)	ユネスコ PERSIST プロジェクト・フォーラム Rob Fisher and Sarah CC Choy		
16:00	休憩			
16:30	ICA 総会			

9月29日(火) 午前

09:00	基調講演「誤審におけるアーカイブされた情報の重要性」 Gísli Guðjónsson, CBE			
09:30	Ancestry プレゼンテーション			
09:40	分科会 3.1 (Room A) 記録、データ及びそれらのシステムの真正性の確保	分科会 3.2 (Room B) 情報管理とアドボカシー	分科会 3.3 (Room H) 市民の権利と政府の権利、立法の役割、アクセス原則、アクセス制限手続 (1)	分科会 3.4 (Room I) オープンガバメント時代の記録及びアーカイブズ
	信頼できるアーカイブズの構築: ハイブリッド記録の真正性の保証 Fiona Aranguren Celorrio	「北」—国際協力と国の優先事項が交差する場所—の記録 Chantal Marin	SIC アーカイブズへのアクセスと機密保持に係る特別規定 Rögnvaldur G. Gunnarsson	カナダのオープンガバメント・イニシアチブ下におけるアーカイブズの提供: カナダ国立図書館公文書館のブロック審査計画 Paulette Dozois

ICA 年次会合レイキャビク 2015 プログラム

	電子化プロセスの安全性の向上：外交の貢献 Céline Guyon	ケルベロス：公共情報管理システムの保護及び開発に向けた三正面アプローチ Marilyn Little	福祉関係ファイルへのアクセスの提供 Svanhildur Bogadóttir	ヒラリーの教訓：デジタル時代の政府の諸活動の完全な公記録（及びそのアクセス）確保に向けた課題 Jason R Baron
	データ保存、オープンデータ及び個人情報保護：ジョーナ市議会の戦略 Lluís-Esteve Casellas	「世界アーカイブズ宣言」を用いたアーカイブズのためのアドボカシー：透明性及び公共情報へのアクセスに向けた「カタルーニャ方式」 Joan Soler Jiménez	デジタル時代の「記憶機関」活性化をめぐる課題と展望：ジンバブエの事例 Collence Chisita	
	絶望の中でこそ創造的な方策を：南アフリカの水道事業会社のネットワーク化された環境で作成された記録の保存に向けた取り組み Mpho Ngoepe	協働するべきか、せざるべきか、それが問題だ—東南部アフリカで国立公文書館所蔵文書への関心を高める Nampombe Saurombe		
11:10	休憩			
11:35	分科会 4.1 (Room B) 情報のセキュリティ及び保護	分科会 4.2 (Room A) アーカイブズが、保存だけでなく利用のために情報を収集し管理するものであることを示す、非アーカイブズ部門におけるデータの革新的な利用方法	分科会 4.3 (Room H) 市民の権利と政府の権利、立法の役割、アクセス原則、アクセス制限手続（2）	分科会 4.4 (Room I) ポスター発表
	デジタル記録の信頼性確保における韓国の取り組みと実行 Jiyoung Lee	大衆か機械か—誰がアーカイブズにデータを入れるべきか？自動作成メタデータに比したクラウドソーシングの価値 Soren Bitsch Christensen	機密指定及び機密解除の政策とアメリカ国立公文書館による監督 John Fitzpatrick	アーカイブズのオートメーション化：オーストラリア国立公文書館におけるデジタル記録の公開 Jo Hanisch
	アーカイビングのためのデータ交換モデル (MEDONA)：フランス国立公文書館のデジタルアーカイビング政策における主要標準 Claire Sibille	誰がどこにいたのか？ジオ参照された「万物」の歴史 Peer Boselie	アイスランドの新アーカイブズ法 Eirikur Gudmundsson	データの安全性と信頼性に係る組織方針が意味するものとは Kari Smith
	バーチャルな真正性：理論から実践へ Corinne Rogers	アーカイブズへのアクセスを再考する：新生フランス国立公文書館、革新的連携そしてバーチャル収蔵庫 Rosine Lheureux	記録を守り広く知ってもらうために—日本国国立公文書館の取組— Naka Sasaki	証拠と記憶の源泉としてのデジタルトレース Jessica Bushey
			農民の権利と利益を守る土地登記記録 Bing Wang	アーカイブズのコンテキストと発見：デジタル時代のヒエラルキー Sarah Higgins
				原本のみが重要か？オーストラリア国立公文書館のデジタル・イニシアチブ Katharine Stuart
13:05	昼食			

ICA 年次会合レイキャビク 2015 プログラム

9月29日（火）午後

14:15	分科会 5.1 (Room A) 人権と記録管理の関係	分科会 5.2 (Room B) アカウントビリティと文化遺産：アーカイブズの裏表	分科会 5.3 (Room H) 個人情報の保護と機微に触れるデータの不適切な利用	分科会 5.4 (Room I) ICA・AtoM プロジェクトの最新情報
	アカウントビリティ、完全性及びルワンダのジェノサイド関係アーカイブズの今後 Stuart Wilkinson	光と陰の間で：パリ・ディドロ大学における文書収集と情報へのアクセス付与 Charlotte Maday	アーキビストの未来像：公共アクセスとプライバシー保護の相剋 Maartje Van de Kamp	ICA・AtoM プロジェクトの最新情報と実演 Evelyn McLellan
	トラウマ関係資料のアーカイビング：市民の権利を支えるための責任及び義務 Elizabeth Shaffer	荷車の前に馬をつなぐ：文化遺産がもたらすアカウントビリティ William J Maher	ネットワーク化された公共サービスにおける、個人情報の適切な保護と利用のための市民本位の機密化：中国の視点 Shuyang Sun	オーストラリア国立大学図書館の事例 Maggie Shapley
	協力と透明性：ラテンアメリカにおける「公共情報透明性・アクセスネットワーク」のための記録及びアーカイブズ用管理モデル Beatriz Franco Espiño	危機にさらされる遺産と正義：透明性が広く求められる時代に組織管理記録の保存が抱える課題 Heather Briston	政府の行政データの安全性向上は政策研究の成果の信頼性向上につながるか Alexandra Eveleigh	
		アカウントビリティと大学アーカイブズ：学術文化遺産収集がもたらす不正への取り組み Megan Sniffin-Marinoff		
15:45	休憩			
16:00	総括セッション「アーキビスト：舞台裏から役員室へ」 John Hocking			
16:45	2016年 ICA 大会広報プレゼンテーション			